

[NOTE → INSTAGRAM WORKFLOW](#)

TOMORI Carousel Maker

Instagramカルーセルの背景づくりからデザインまで

このマニュアルのゴール

初めて使う方でも、背景Template Packを作るところから、文章をカルーセルに整え、デザインし、Instagram投稿用PNGを保存するところまで、画面の順番どおりに完成できるように案内します。迷いやすいところは「ここで止まりやすい」で詳しく説明します。

Manual Version 3.1

対象：TOMORI Carousel Maker の現行画面を基準にしています。

改訂ポイント：Template Pack ZIPの複数読み込み、ブラウザでの再利用、背景作成からカルーセル完成までの操作フローを反映。

目次

- 1. まず全体像をつかむ
- 2. 最短ルート - 初回はこの順番だけ
- 3. 作業を始める前の準備
- 4. Prompt Builderで背景セットを設計する
- 5. 人物・動物・スタイルを思いどおりに指定する
- 6. 1枚目 Cover を作る
- 7. 2枚目以降を同じ世界観で作る
- 8. まとめて作る方法
- 9. 完成画像をアプリへ登録する
- 10. 生成後レビュー - 問題のある画像だけ直す
- 11. TOMORI Template Pack ZIPを保存する
- 12. Carousel Studioへ移動する
- 13. STEP 01 記事を入力する
- 14. STEP 02 AIのJSONを取り込む
- 15. STEP 03 スライド編集
- 16. STEP 04 デザイン - Template Packを使う
- 17. 自分のTemplate Pack ZIPを読み込む
- 18. 複数のTemplate Pack ZIPをまとめて読み込む
- 19. 画像だけを今回使う
- 20. STEP 05 プレビュー
- 21. PNGを保存して投稿準備を終える
- 22. 保存・再利用の考え方
- 23. 迷って手が止まりやすいポイント
- 24. 初心者向けおすすめ設定
- 25. 用語ミニ辞典
- 26. 最後に - 迷ったらこの順番

最初に覚えるのは2つだけ

「背景を作る」なら Prompt Builder。「投稿を作る」なら Carousel Studio。まずこの2つだけ覚えておけば大丈夫です。

1. まず全体像をつかむ

TOMORI Carousel Makerは、Instagramカルーセル用の「背景を作る作業」と「投稿スライドを仕上げる作業」を1つにつなげるアプリです。

場所	何をする？	できあがるもの
Prompt Builder	背景の雰囲気・文字余白・人物・動物・構図を決め、ChatGPT / Gemini用のPromptを準備します。生成した画像を登録し、Template Packにまとめます。	TOMORI Template Pack ZIP
Carousel Studio / Importer	Template Packを読み込み、記事やメモをカルーセル用の文章に整え、背景・文字・余白を組み合わせで仕上げていきます。	Instagram用 1080×1350 PNG

大切：このアプリの中でAI画像が自動生成されるわけではありません
このアプリでは「Promptを準備」→「AIを開く」→「画像を生成」→「PCへ保存」→「アプリへ登録」という手順で背景画像を作ります。

アプリが自動で行うこと

- 背景の役割ごとの構図と文字余白の設計
- ChatGPT / Gemini向けの画像生成Prompt作成
- 写真・イラストのスタイル固定
- 人物・動物の指定をPromptへ確実に反映
- Coverを基準にしたシリーズ一貫性の指示
- 登録画像を1080×1350 WebPへ整える
- Template Pack ZIPを作成する
- Template Packを読み込み、カルーセルの背景として使う

2. 最短ルート - 初回はこの順番だけ

細かな設定を全部理解してから始める必要はありません。初回は次の16手順を上から順に進めてください。

ここで最も重要

Coverが希望どおりになるまで2枚目へ進まないこと。2枚目以降はCoverを毎回参照画像としてAIへ添付すること。この2点でシリーズの統一感が大きく変わります。

手順	操作	確認
1	Prompt Builderを開く	背景を作る側
2	セット枚数・テーマ・スタイル・色・雰囲気を選ぶ	迷ったら初期値でOK
3	人物・動物の有無を決める	不要なら「入れない」
4	文字位置と余白スタイルを選ぶ	迷ったら「自動（おすすめ）」
5	Background Planを作る	各背景の役割が並ぶ
6	5-1「1枚ずつ作る」を選ぶ	初回はこれがおすすめ
7	CoverのPromptをコピーし、ChatGPT / Geminiで1枚生成	Coverが基準画像
8	CoverをPCへ保存しアプリへ登録	ここで世界観を確認
9	2枚目以降は毎回CoverをAIへ添付して生成	ドリフト防止
10	完成画像をまとめて登録	役割の割り当てを確認
11	レビューでOK / 要修正を付ける	悪い画像だけ直す
12	TOMORI Template Pack ZIPを作成	PCに正式保存
13	Carousel Studioへ移動	投稿を作る側
14	記事→AI指示書→JSON取込→スライド編集	投稿文を整える
15	STEP 04でTemplate Pack ZIPを読み込んで使う	複数Packも選択可能
16	プレビュー→PNG保存	Instagram投稿用画像完成

3. 作業を始める前の準備

3-1. 用意するもの

- ChatGPT または Gemini を利用できる環境
- 画像を保存できるPCまたは端末

Instagramカルーセルの背景づくりからデザインまで

- カルーセルにしたい記事・メモ・ノート（後半で使います）

3-2. 最初にフォルダを1つ作ると迷いません

例：PCに「TOMORI / warm-cafe」という作業フォルダを作り、その中へAI生成画像とTemplate Pack ZIPを保存します。

おすすめの保存方法

生成画像は 01-cover、02-problem、03-insight...のように番号を付けて保存すると、後でアプリへまとめて登録するとき自動割り当てされやすくなります。

3-3. 写真にするかイラストにするかを先に決める

途中で写真とイラストを切り替えるとシリーズ全体が揃いにくくなります。スタイルは最初に決め、Coverで確認してから進めます。

4. Prompt Builderで背景セットを設計する

通常は画面を上から順に選ぶだけで十分です。難しい設定を触る必要はありません。

4-1. 何を作りますか？

1. 作成する枚数を決める

背景セットは1〜32枚に対応します。初回は8枚がおすすめです。

2. 用途を選ぶ

解説・ノウハウ、商品・サービス紹介、お知らせ、日記・エッセイなど、投稿目的に近いものを選びます。

4-2. どんな雰囲気になりますか？

- テーマ：カフェ、自然、デスク、都市、和風、室内、本、食べ物など
- スタイル：Photography、Editorial Photography、Illustration、水彩、アニメなど
- 色：Warm Neutral、Beige、Pastel、Japanese Naturalなど
- 雰囲気：落ち着いた、温かい、上品、知的、静か、ミニマルなど

4-3. 文字配置

- 文字位置：迷ったら「自動」
- 余白スタイル：迷ったら「自動（おすすめ）」
- 背景の情報量：初回は「少ない」がおすすめ
- 被写体サイズ：標準
- セットの変化量：適度に変化

ここで止まりやすい：余白スタイルが分からない

迷ったら「自動（おすすめ）」のままで進めてください。用途・人物・色調・情報量から、自然な余白／明るめ／ミニマル／背景ぼかし寄り／オブジェクトを避けた余白をアプリが自動で選びます。

5. 人物・動物・スタイルを思いどおりに指定する

5-1. 人物を入りたい場合

「人物を入れる」を選んだら、人数・見え方・人物像・人物詳細を順に指定します。

項目	例
人数	1人 / 2人 / 3人 / グループ
見え方	顔あり / 横顔 / 後ろ姿 / 手元のみ / シルエット
人物像	女性 / 男性 / 子ども / 高齢者 / 複数人・男女混合
人物詳細	日本人の20歳くらいの女性、茶色のショートヘア、カジュアル、自然な笑顔

5-2. 動物を入りたい場合

犬・猫・パンダ・うさぎ・鳥・その他から選び、数と詳細を入力できます。人物+動物の組み合わせも可能です。

5-3. 自然文メモは細かな希望を書く場所

「京都の古い町家カフェのような雰囲気、木とベージュを中心に、人は出さず、文字を載せやすく」のように、選択肢だけでは表せない希望を書きます。

矛盾したらどちらが優先？

人物・動物・スタイルなど、画面で明確に選んだ設定が優先されます。自然文メモは細かな希望として残りますが、画面で選んだ設定と矛盾する部分は、画面の設定を優先してPromptへ反映します。

イラストを選んだのに写真っぽくなるのが心配

TOMORIはイラスト系スタイルでは「写真にしない」、写真系では「イラストにしない」というSTYLE LOCKをPromptへ入れます。Coverで見た目を必ず確認してください。

6.1枚目 Cover を作る

Coverはシリーズ全体の基準です。ここだけは急がず、納得できる1枚を作ってください。

1. 「5-1. 1枚ずつ作る」を開く

2. AIを選ぶ

ChatGPTまたはGeminiを選びます。

3. シリーズの一貫性を「1枚目（Cover）をマスター参照」にする

通常はこの設定がおすすめです。

4. 生成リストを作り、「次の画像を準備する」

最初はCoverのPromptが表示されます。

5. Promptをコピーする

6. AIを開き、Promptを貼り付けて1枚生成する

7. 生成画像をPCへ保存する

8. アプリへ戻りCoverとして登録する

Coverで確認する5項目

①写真かイラストかが希望どおり ②色が希望どおり ③人物・動物が希望どおり ④文字を置く自然な余白がある ⑤画像内に文字・ロゴ・看板がない

ここで止まりやすい：Coverが『まあまあ』

Coverは後続画像の基準になります。『まあまあ』の状態が進むと、その雰囲気や全画像に引き継がれます。色・画風・人物が気になるならCoverだけ先に再生成してください。

7.2枚目以降を同じ世界観で作る

2枚目以降は毎回同じ流れです。Coverを参照画像として添付することが重要です。

手順	操作	確認
1	「次の画像を準備する」	Problem / Insight / Pointなど次の役割が表示
2	参照パネルを確認	「マスター参照 1. Cover」
3	AIの入力欄へCover画像を添付	毎回同じCoverを使う
4	現在のPromptをコピー	その役割専用のPrompt
5	AIへ貼り付けて1枚生成	Coverの構図そのものはコピーしなくてよい
6	PCへ保存してアプリへ登録	登録後、次へ

なぜ直前画像だけを使わない？

直前画像だけを参照し続けると、少しずつ色・画風・人物の顔や服が変わる「ドリフト」が起きやすいためです。Cover固定ならシリーズの基準が毎回同じになります。

参照モード	使い方	おすすめ
Coverをマスター参照	毎回Coverを添付	★★★★★ 通常はこちら
Cover＋直前画像	Cover優先、直前画像は補助	★★★★☆ 流れも揃えたい
直前画像だけ	1つ前の画像を参照	★★☆☆☆ ドリフト注意
参照なし	画像添付なし	★☆☆☆☆ 統一感不要

8. まとめて作る方法

「5-2. まとめて作る」は、AIへ複数画像分の指示をまとめて渡したい場合に使います。

注意：1枚の中に8分割された画像を作らせないための方式です

まずCoverを1枚だけ作り、そのCoverをAIへ添付して、残りを『独立した1枚画像』として順番に生成させます。コラージュ・グリッド・コンタクトシートは禁止する指示が入ります。

1. STEP A：Coverだけ作る

Coverが完成したらPCへ保存します。

2. STEP B：CoverをAIへ添付する

3. 一括生成Promptを更新・コピーする

4. AIへ貼り付ける

5. AIに1枚ずつ独立画像として順番に生成してもらう

6. 各画像をPCへ保存する

どちらを使えばいい？

人物・動物・画風の統一が大切なら「1枚ずつ作る」をおすすめします。まとめて作る方法は作業を短くできますが、AI側の参照画像の扱いによって差が出やすいです。

9. 完成画像をアプリへ登録する

生成した画像は「6-1. 完成画像を登録」でまとめて選択できます。

1. PCから完成画像をまとめて選択する
2. 自動で提案された割り当てを確認する

ファイル名に cover / problem / insight などが入っていると判定しやすくなります。

3. 違う場合だけプルダウンで修正する
4. この割り当てで登録する

登録すると画像はどうなる？

アプリへ登録すると1080×1350（4:5）のWebPへ整えられます。元画像が別サイズでも、Template Packとして扱いやすい形へ正規化されます。

ここで止まりやすい：どの画像がどの役割か分からない

ファイル名を 01-cover、02-problem、03-insight...のように保存すると迷いません。分からなくなった場合は、画像の内容より『何枚目として使うか』を基準に割り当てて構いません。

10. 生成後レビュー - 問題のある画像だけ直す

全部を作り直す必要はありません。「6-3. 生成後レビュー」で悪い画像だけを直します。

状態	意味
未確認	まだチェックしていない
OK	そのまま使える
要修正	この画像だけ再生成したい

よくある修正理由

- 白い箱・パネルが出た
- 文字余白が足りない
- 被写体位置が違う
- 背景がごちゃごちゃしている
- 雰囲気・世界観が違う
- 不要な人物が出た
- 文字・ロゴ・看板が出た
- 色が違う
- その他

1. 対象画像を「要修正」にする
2. 理由とメモを入れる
3. 「問題を修正して再生成」の流れへ進む
4. 改善Promptをコピーし、通常はCoverをAIへ添付
5. 再生成して同じ役割へ再登録

白い箱が出たとき

Safe AreaはAIに四角として描かせるものではありません。レビュー理由で「白い箱・パネル」を選ぶと、白い箱、空の長方形、テキストパネル、UIパネルなどを出さない指示が強化されます。

11. TOMORI Template Pack ZIPを保存する

背景が揃ったら「6-2. TOMORI Template Packとして保存」へ進みます。

1. 必要な背景がすべて登録済みか確認する
2. Pack名を確認する
3. 必要なら「manifestを見る」でPackの詳細を確認する
通常ユーザーは確認しなくても大丈夫です。
4. 「TOMORI Template Pack ZIPを作成」を押す
5. PCへ保存する

ZIPは解凍しないでください

Carousel Studioでは、作成した .tomori-template.zip / .zip をそのまま読み込みます。中の画像だけを取り出す必要はありません。

このZIPが正式なバックアップです

Carousel Studioへ一度読み込むとブラウザに保存して再利用できますが、ブラウザのデータを消すと消えることがあります。PCに保存したZIPは残しておいてください。

Template Packには1〜32枚の背景を入れられます。Carousel投稿では、その中から最大8スライド分の背景を使います。

12. Carousel Studioへ移動する

ここから目的が変わります。Prompt Builderは「背景を作る場所」、Carousel Studioは「投稿スライドを作る場所」です。

STEP	すること
01	記事・メモを入力する
02	AIが作ったカルーセルJSONを取り込む
03	見出し・本文・箇条書き・レイアウトを直す
04	Template Packや文字・余白をデザインする
05	全スライドをプレビューする
出力	PNGを保存する

背景だけ先に選んでもいい？

可能ですが、初回は STEP 01 → 02 → 03 → 04 の順番がおすすめです。文章量が分かってから背景を選ぶ方が、文字余白との相性を判断しやすくなります。

13. STEP 01 記事を入力する

カルーセルにしたい元の文章・メモ・ノートを入れます。文章が完成していなくても、要点が書かれていれば始められます。

1. 元になる文章を入力する
2. スライド枚数を選ぶ
自動（4～8枚）または必要枚数を指定します。
3. 「AI指示書を作成」を押す
4. 指示書をコピーする
5. ChatGPT等へ貼り付け、カルーセル用JSONを作ってもらう

ここで止まりやすい：記事が長い

長文でも構いません。全部を各スライドに詰め込むのではなく、AI指示書は要点をスライドに分けるために使います。完成後はSTEP 03で文章量を減らせます。

ここで止まりやすい：何枚にすればいい？

初回は「自動（4～8枚）」で大丈夫です。背景Template Packが8枚以上あっても、1つの投稿で全部を使う必要はありません。

14. STEP 02 AIのJSONを取り込む

AIが作ったカルーセル構造をアプリへ読み込みます。JSONの中身を理解する必要はありません。

1. AIが返したJSONをコピーする、またはJSONファイルとして保存する
2. Carousel StudioのJSON欄へ貼り付ける、またはファイルを選ぶ
3. 「検証して取り込む」を押す
4. エラーがなければSTEP 03へ進む

JSONを手で直す必要はありません

通常はAIが返したJSONをそのまま取り込みます。文章を変えたいときは、取り込み後にSTEP 03で見出しや本文を編集する方が簡単です。

JSONエラーが出たら

AIの返答に説明文やコードブロック記号が混ざっていないか確認し、JSON部分だけをコピーし直します。それでも難しい場合は、AIへ『JSONだけを出力してください』と依頼して再度コピーします。

15. STEP 03 スライド編集

ここは投稿内容を人の目で整える場所です。AIが作った文章をそのまま使う必要はありません。

- 見出しを短くする
- 本文を読みやすい長さへ減らす
- 箇条書きを整理する
- 必要な画像や要素を調整する
- スライドを追加・複製・削除・並べ替える

読みやすさの目安

1枚に情報を詰め込みすぎないことが重要です。見出しを短くし、本文が長い場合は次のスライドへ分けると、背景の余白を活かしやすくなります。

ここで止まりやすい：背景を先に決めたい

背景はSTEP 04で何度でも切り替えられます。まず文章を大まかに整え、その後に背景を合わせる方がスムーズです。

16. STEP 04 デザイン - Template Packを使う

STEP 04では、公式Template Pack、自分で作ったTemplate Pack、手元の画像から背景を選べます。

16-1. 公式Template Pack

WordPress Template Libraryが表示される環境では、公開されている公式Packを選べます。自分で背景を作らなくても、そのままデザインを始められます。

16-2. 自分のTemplate Pack

Prompt Builderで作成したTOMORI Template Pack ZIPを読み込みます。一度読み込んだPackは、このブラウザで再利用できます。

16-3. 画像だけを今回使う

Packを作らず、手元の画像を1〜8枚だけ一時的に使えます。ページを閉じるか再読み込みすると消えます。

どれを使えばいい？

自分で作った背景を今後も使いたい → Template Pack ZIP。今日だけ手元の写真を使いたい → 「画像だけを今回使う」。公式デザインをすぐ使いたい → WordPress Template Library。

17. 自分のTemplate Pack ZIPを読み込む

Prompt Builderで保存したZIPを、ここで初めてカルーセルの背景として使います。

1. STEP 04 「デザイン」を開く
2. 「自分のTemplate Packを使う」を探す
3. 「+ Template Packを読み込む」を押す
4. PCに保存した .tomori-template.zip / .zip を選ぶ
5. 読み込み結果を確認する
6. 追加されたPackから使いたいものを選ぶ

ZIPはそのまま選ぶ

ZIPをダブルクリックして展開する必要はありません。PCに保存されたZIPファイルそのものを選択してください。

読み込んだPackはどこへ行く？

このブラウザに保存され、次回も再利用できます。ただし正式なバックアップはPCのZIPです。ブラウザの履歴・サイトデータを削除すると消える可能性があります。

同じPack IDのPackを再度読み込んだ場合は、既存Packを更新するか、今回の読み込みを見送るための確認が表示されることがあります。内容を更新したZIPなら「更新」を選びます。

18. 複数のTemplate Pack ZIPをまとめて読み込む

複数のZIPを一度に選択できます。たとえば「カフェ」「和風」「水彩」の3Packをまとめて登録できます。

1. 「+ Template Packを読み込む」を押す
2. ファイル選択画面で複数のZIPを選ぶ
WindowsはCtrl、MacはCommandを使うと複数選択しやすくなります。
3. アプリが1件ずつ順番に確認する
4. 正常に読めたPackが一覧へ追加される
5. 使いたいPackを選ぶ

一部のZIPだけエラーになった場合

正常なPackまでやり直す必要はありません。読み込めなかったZIPだけをPrompt Builderから作り直し、後で追加してください。

なぜ1件ずつ確認するの？

複数の大きなZIPを同時に展開するとブラウザが重くなりやすいためです。画面上ではまとめて選べますが、内部では1件ずつ安全に確認します。

ここで止まりやすい：どのPackを選べばいい？

投稿の内容に近い世界観を優先してください。文章の役割に合う背景を選びやすいように候補が表示されるので、Pack内の1枚1枚を先に決める必要はありません。

19. 画像だけを今回使う

Template Pack ZIPを作っていないときでも、手元の画像を一時的な背景として使えます。

1. STEP 04 「画像だけを今回使う」を開く
2. 「+ 画像を選ぶ」を押す
3. 1～8枚のPNG / JPEG / WebPを選ぶ
4. 背景として使用する

Template Packとの違い

一時画像はページを再読み込み／閉じると消えます。Safe Areaや役割などのPack情報も正式保存されません。何度も使う背景ならTemplate Pack ZIPにしてください。

20. STEP 05 プレビュー

ここでInstagramへ投稿したときの見え方を最終確認します。

- 見出しが長すぎないか
- 本文が文字エリアからはみ出していないか
- 人物の顔や重要な被写体に文字が重なっていないか
- 背景と文字のコントラストが十分か
- 全スライドの色・画風が揃っているか
- Coverが投稿の入口として分かりやすいか
- Summaryが最後のまとめとして分かりやすいか

問題を見つけたら戻って大丈夫

文章の問題 → STEP 03。背景・文字色・余白の問題 → STEP 04。背景画像そのものに問題 → Prompt Builderのレビューへ戻って再生成。原因に合わせて戻る場所を選びます。

21. PNGを保存して投稿準備を終える

最終確認が終わったらInstagram用画像を保存します。基準サイズは1080×1350（4:5）です。

1. 各スライドをプレビューする
2. PNG保存を実行する
3. 保存された画像をPCまたはスマホで開く
4. 文字切れ・小さすぎる文字・余白をもう一度確認する
5. Instagramへ投稿する

投稿前に実寸に近い大きさで見る

編集画面では大きく表示されていても、スマホでは文字が小さく感じる場合があります。投稿前にスマホで確認すると安心です。

22. 保存・再利用の考え方

保存したいもの	保存方法	用途
背景セット	TOMORI Template Pack ZIP	別の投稿でも背景を再利用
一度読み込んだ背景Pack	ブラウザ保存	同じブラウザで再利用
Carousel Studioの編集途中	プロジェクト保存	後日続きを編集
Prompt Builderの設計	設定保存 / JSON / YAML	同じ設計で別の背景セットを作る
一時画像	保存なし	今回のページだけ

最も大切なバックアップ

自分で作った背景は、PCに保存したTOMORI Template Pack ZIPを残してください。ブラウザ保存は便利な再利用で、正式バックアップではありません。

23. 迷って手が止まりやすいポイント

困ったときは、まずこの章を見てください。

困りごと	対処
Promptをコピーできない	ブラウザのクリップボード権限を確認します。コピーできなければPrompt欄を選択して手動コピーします。
イラスト指定なのに写真になる	Coverの時点でやり直します。スタイルがイラスト系になっているか確認し、Coverをマスター参照にして後続を作ります。
写真が途中からイラストになる	2枚目以降で毎回Coverを添付します。直前画像だけを参照しないようにします。
人物を入れたのに出ない	人物が「入れる」になっているか、人数・見え方・人物像を確認します。自然文メモより人物UIの指定が優先されます。
人物の顔・髪型・服が変わる	Coverを毎回添付し、一貫性を強めにします。Cover自体の人物が理想どおりかも確認します。
不要な人物が出る	レビュー理由「人物が不要」を選び、改善Promptで再生成します。
動物の種類や数が違う	動物UIの種類・数・詳細を確認し、同じCoverを参照して再生成します。
白い四角・空のパネルが出る	Safe Areaを描画させるものではありません。レビュー理由「白い箱・パネル」を選んで再生成します。
文字余白が足りない	余白スタイルをミニマル／オブジェクトを避けた余白にし、背景情報量を少なく、被写体を小さめにします。
画像内に文字・ロゴ・看板が出る	再生成します。TOMORIの禁止指示 no text / no letters / no words / no typography / no logo / no watermark を維持します。
Template Pack ZIPボタンが押せない	必要な背景画像がすべて登録されているか確認します。未登録の役割が1枚でもあると完成ZIPを作れません。
ZIPを読み込めない	ZIPを解凍せず、そのまま選んでいるか確認します。Prompt Builderから作り直したZIPを使うのが確実です。
複数ZIPのうち1つだけ失敗	成功したPackはそのまま使えます。失敗したZIPだけ作り直して後から追加します。
読み込んだPackが次回見つからない	同じブラウザ・同じサイトで開いているか確認します。サイトデータを削除した場合はPCのZIPから読み込み直します。
どの背景を選べばいいか分からない	投稿内容に合うPackを先に選び、各スライドでは文字の読みやすさと被写体との重なりを優先します。
文字が被写体に重なる	STEP 04で別背景へ切り替えるか文字位置を調整します。背景自体の余白が悪ければPrompt Builderへ戻って再生成します。
画面の一部が見えない	ブラウザ表示倍率を100%に戻し、縦スクロールします。

24. 初心者向けおすすめ設定

淡色カフェ

セット8枚 / カフェ / Editorial Photography / BeigeまたはWarm Neutral / 落ち着いた / 人物なし / 文字位置：自動 / 余白：自動 / 情報量：少ない

読書・エッセイ

セット8枚 / 本 / Lifestyle Photography / Warm Neutral / 静か / 1人または人物なし / 柔らかい自然光 / 情報量：少ない

ビジネス投稿

セット8枚 / デスク / Photography / Bright Clean / 知的 / 人物なし / 文字位置：左または右 / 情報量：かなり少ない

和風投稿

セット8枚 / 和風 / 水彩または写真 / Japanese Natural / 上品 / 人物なし / 文字位置：自動 / 和紙・木の質感

商品紹介

セット8枚 / 商品に近いテーマ / Editorial Photography / ブランド色 / 上品 / 人物なし / 被写体：大きめ / 情報量：少ない

一貫性のおすすめ

AI：ChatGPTまたはGemini / 一貫性：1枚目（Cover）をマスター参照 / 強さ：バランス。人物や動物の同一性が特に重要なときだけ強めにします。

25. 用語ミニ辞典

用語	意味
Prompt	画像生成AIへ渡す「こういう画像を作ってください」という指示。
Negative Prompt	画像に出してほしくないものを指定する指示。
Safe Area / Text Area	Carousel Studioで文字を置くために空けておきたい範囲。AIへ四角を描かせるものではありません。
Negative Space	文字を置きやすくするため意図的に空けた自然な余白。
Overlay	Carousel Studio側で文字を読みやすくするため背景へ重ねる表示情報。画像生成AIへは送りません。
Master Reference	シリーズ全体の画風・色・光・人物・動物を揃えるため、毎回参照する基準画像。通常はCover。
TOMORI Template Pack	背景画像と設定情報をまとめたZIP。Carousel Studioへ読み込んで使います。
manifest.json	Template Packの背景や文字配置に必要な情報を記録する内部ファイル。通常は開いたり編集したりする必要はありません。
recommendedRoles	Cover / Problem / Insightなど、どのスライド役割に合う背景かを示す情報。

26. 最後に - 迷ったらこの順番

手順	場所	操作
1	Prompt Builder	テーマ・スタイル・人物・文字位置を決める
2	Background Plan	背景セットの設計を作る
3	Cover	Promptをコピー→AIで生成→PC保存→アプリへ登録
4	2枚目以降	毎回CoverをAIへ添付→Prompt→生成→保存→登録
5	レビュー	OK / 要修正を付け、悪い画像だけ再生成
6	Template Pack ZIP	全背景が揃ったらPCへ保存
7	Carousel Studio STEP 01	記事・メモを入力
8	STEP 02	AIのJSONを取り込む
9	STEP 03	見出し・本文・スライド順を整える
10	STEP 04	自分のTemplate Pack ZIPを読み込んで選ぶ
11	STEP 05	全スライドをプレビュー
12	PNG保存	Instagram投稿用画像完成

まず覚える操作は4つ

① Background Planを作る ② Promptをコピーする ③ 2枚目以降はCoverを毎回AIへ添付する ④ 完成したTemplate Pack ZIPをSTEP 04で読み込む。この4つが分かれば、背景づくりから投稿完成まで迷わず進められます。

TOMORI Carousel Maker

Instagramカルーセルの背景づくりからデザインまで